

科名 泌尿器科
対象疾患名 根治切除不能な尿路上皮癌
レジメン名 パドセブ+キイトルーダ

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	8	...	21
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓		↓		
2	点滴注	側管	デキサート	6.6mg	30分かけて	↓		↓		
			生食	50mL						
3	点滴注	側管	パドセブ	1.25mg/kg	30分かけて	↓		↓		
			注射用水	3.3mL						
			生食	50mL						
4	点滴注	側管	キイトルーダ	200mg	30分かけて	↓				
			生食	100mL						

★1クール＝21日

～MEMO～

催吐レベル2(10%以上30%未満)

<パドセブ>

1回の投与量は125mgを超えないこと。

皮膚粘膜眼症候群(SJS)及び中毒性表皮壊死融解症(TEN)等の重症皮膚副作用による死亡例の報告があるので注意し、
投与前皮膚科受診をすること。

インフュージョンリアクションの既往がある患者は本剤投与30-60分前に前投薬(鎮痛薬、抗ヒスタミン薬、副腎皮質ホルモンなど)を考慮。
高血糖に注意し特に1コース目は採血時必ず、血糖の確認を行う。

<キイトルーダ>

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。